

平成30年度
生徒会スローガン

誠実

～僕らの青春ここにあり～



発行所
下伊那農業高等学校
校友会新聞委員会
長野県飯田市郡名古熊2366-4
電話 代表 飯田(22)5550番
発行責任者 川合 魁 人

【夏休み明けの日程】
8月
20日 始業式⑤⑥授業
21日 復習テスト
22日 ④⑤⑥授業
人権映画鑑賞会 (PM)
23日 一斉委員会



平成30年度 入学式



入学式

1年A組 金子 詩 奈

4月5日、私達1年生は晴れて入学式の日を迎えました。まず体育館に入って目を見張ったのは、きれいに飾られたたくさんのお花でした。普通の学校なら買った花かなあと思います。ここは農業高校。おそ

らく先輩方が日々お世話をしてくださる花だと思われ、入場の際に吹奏楽班の演奏を聞きました。素晴らしい演奏で先輩方が日々の班活で目的意識をもって取り組むからこのクオリティなのだと思いました。

祝辞の中に、創立百周年に関するお話がありました。私達が3年生になる年に、創立100周年を迎え、記念イベントを私達を中心に行わなければなりません。とても重要な役目だと思います。ですが、私達はまだ下伊那農業高校に慣れていない状態です。この3年間で100周年を迎える学生にふさわしい下

南米エクアドル地方の先住民族に伝わる示唆に富む短いお話を紹介します。森が 燃えていました。森の 生きものたちは われ先にと 逃げていきました

でも クリキンディという名の

ハチドリだけは

くちばしで 水のしずくを

一滴ずつ 運んでは

火の上に 落としていきます

動物たちが それを見て

「そんなことをして

いったい何になるんだ」と

いって 笑います

クリキンディは

こう答えました

「私は私にできることをし

ているだけ」

このお話は実に短いです。私は強く胸を打たれました。何か大きなメッセージが込められているように思います。実はこの物語が、翻訳出版されて日本に紹介されたとき、世代を超えて共感の輪が広がりました。特に、共感を呼んだのは、最後の「私は、私にできることをしただけ」という意味深長なさわりの一文です。

この話を聴くと、心にチクリと、小さな痛みをしばらく覚えてます。無関心でいるより、小さな勇気を奮い立たせる大切さを気づかせてくれます。ためらっていた背中を押され、勇気ある行動を起こす第一歩を踏み出せそうな気持ちになります。

人は誰しも、何か大きなことを成し遂げようとする

時、ともすれば無力感に押しつぶされそうになります。しかし、それでも、行動するの、としないのでは、まったく違う結果になることもあります。共感して行動を共にしてくれる人が現れるかもしれない。もしかしらば、世の中を変えるような大きな反響を呼ぶ運

「あなたは、ハチドリになれますか？」

学校長 村 澤 博富美

動につながるかもしれない。ノーベル平和賞を受賞したマララさんのように。「ハチドリのひとしずく」に登場する山火事は、世の中で起きているさまざまな困難や問題を象徴している。読み取ることもできません。また、学校での身近な課題として捉えてもいいで

しよう。そして、ハチドリは、たとえ小さな力でも、その状況を変えようとすると、一人ひとりの勇気ある姿を表しているのではないのでしょうか。

どんな大きな問題や困難な課題に遭遇しても、「今の自分にできることをやる」「自分にとってのひとしずくを探

す」、こうした前向きな心と勇気ある行動が大切なのです。できるなら、「このハチドリのように生きたい」と思いませんか。生きる姿勢として、見習いたいものです。

生徒の皆さんが、学校生活において、よりよいクラスに、よりよい班に、よりよい学校にしたいと願うなら、自分には何ができるのかを考え、正しいと思っ

た。最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。

最後に、校長先生のお話の中で、AKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞を教えてくださいました。

農生になりたいと感じました。



入会式を振り返って

1年A組 田中里奈

私は入会式で、A組を代表してあいさつをさせていただきました。緊張しましたが、下農生としてどうやって生活していくのかを考える良い機会となりました。

突然、先生からあいさつをしてほしいと言われたときは、驚きと不安でいっぱいでした。先輩方の前に出て話すことも聞いていたのになおさらでした。あいさつの内容は、前日の入学式で印象に残った伝統ある下農や自立した下農生の先輩方のお話から、こんな風になれればいいなと思いましたが、当日は先輩方の前に立ち緊張していましたが、ゆっくりハッキリとあいさつ



入会式の感想

1年C組 清水 凛

私は、入会式で中学と違うなと思ったことがたくさんあります。その中でも特に2つ中学校とは違うと思ったことがあります。

1つ目は、学校の雰囲気。大人のように落ち着いているという事です。中学校でも落ち着いた雰囲気はありましたが、大人のような雰囲気はなかったように感じます。けれど高校では、大人げな雰囲気も漂っていて、やっぱり高校生はすごいな、と思いました。大人な雰囲気と感じるのには、自立している方々だからだと思います。私も、早く自分で周りのことを出来るようになりたいし、大人な雰囲気になるように頑張りたいと思います。

2つ目は、会を進める方々が、とても上手に、そして

一学年行事

初めての学年行事

1年A組 松本 昂卓

高校に入學し、1ヵ月が過ぎて少しづつ高校生活に慣れた時期に1学年初めての行事「大学見学」がありました。今回、僕は松本大学を見学に行きました。

僕は松本大学に着いて初めて感じたのは、「とても大きな大学だなあ」と見て感じました。そこではまず模擬講義を受けました。「食と栄養」について聞きました。この講義では、自分の身近な食材にはどのような良い成分が入っているのかとても理解できました。次には大学の施設案内で周りを見ましたが、高校にはないような部屋が沢山ありました。その中の1つの学食で昼食をいただきました。僕は丼物を食べましたがとても美味しかったです。その他にも陶芸体験や安曇野の大王わさび農場に行きました。陶芸体験では、自分でお椀と皿を白土で作りました。

1つ目にお椀を作りましたが形を作るのがと



以上2つが中学校と高校で特に違うことです。私も、2年後には先輩方のような素晴らしい下農生になれるように頑張りたいと思います。

バス旅行

1年B組 岡田 初

5月23日(水)、僕たちは、「Fablab Nagano」と北陸信越運輸局に行きました。

バスにのって3時間くらいすると信州大学につきました。そこで前半と後半に分かれて先生の話を聞いたり、体験したりして、貴重な経験ができました。もちろん途中でねむくなるようなことは一切ありませんでした。

次に北陸信越運輸局に行きました。ここでは実際に自動車やバイクが整備されたり、チェックされているところを見学しました。そこで整備士の方々の姿を見て、とてもかっこよくてすごかった。とにかくすごかったです。

現在、自動車整備士は全国的に不足しており、日本の自動車産業の衰退も考えられます。今の日本の自動車産業の衰退をくいとめるためにも、自分の将来の夢を実現するためにも絶対にこの学校を卒業して、三級自動車整備士の資格を取り、自動車整備士になりたいです。

このバス旅行はクラスのみんなと色々な人の話

一学年行事

1年C組 大澤 あい

今回の大学見学では、大澤果樹園、あぐりん村、農業試験場の見学に行きました。

大澤果樹園では大澤さんから農業や果樹についてのお話を伺いました。大澤さんは、20代で農家をやらせているそうです。様々な工夫もされていて、高齢の



一学年行事のふり振り返り

1年D組 宇佐美 純平

一学年行事で、僕のクラスは、2つの場所へ行きました。バスに乗って、最初に行ったのは、愛知学泉大学でした。まずは、大学と短大の紹介から始まり、次に学内見学をしました。高校生になつて驚くことの連続だったのですが、大学という所の大きさ、そして設備、とても驚きました。次は食物栄養学科、鈴木幸男准教授による模擬授業でした。管理栄養士と栄養士の違いや、高校生の食事問題についてなど、これからの生活や学習で活かせるような授業を体験させていただきました。特に僕が一番気



は「役立つか」とのことでした。次に向かったのが、ヤクルト工場、製造工程から、いろいろなクイズ、そして、ビデオに



果樹は少しの事でもダメになってしまうので、手がかりますが、自分が頑張れば頑張る程、食べられる人がおおいと喜んでくれるところが楽しい。というお話が私にとっても印象的でした。

あぐりん村では、めずらしい野菜や果物を見ました。かぶやねぎの種類がいっぱいあって、見た事がない物もたくさんありました。また、野菜だけではなく、シフォンケーキやソフトクリームなどもあって、子供からお年寄りの方まで、色々な年代の人が利用できるのも良い施設だと思いました。

農業試験場では、たくさんのお話をお聞きしました。私はカーネーションの

今回の見学で様々なことを学ぶことができたので、これをこれからの生活に生かしていきたいです。

よる説明、この見学では、代田イズムという考え方が今でも続いているんだなと思えました。

この一学年行事の見学で、大学への興味や関心、さまざまなことを感じました。ヤクルトの代田イズムについては、調べてみると面白いと思います。

芸術鑑賞

落語の力

3年A組 木下彰久

6月5日火曜日に、芸術鑑賞会がありました。今年の芸術鑑賞は落語という僕にとって初めての体験でした。講談では、扇子と手拭いだけを使い、この2つを色々なものに見立てて落語の演出をしていました。1人目の、一龍斎貞橘さんは落語の基礎的な知識を教えてください、落語の楽しみ方を教えてくださいました。2人目の林家正楽さんは紙切りという紙をハサミで切った絵を作るといった、とても珍しい色物でした。実際見てみると、ハサミと紙だけで芸術作品ができる事にとっても驚きました。3人目の柳家喬太郎さんは僕たち客を笑わせてくれる落語で、落語には見ているお客さん達を笑顔にしてくれる不思議な力がある事が解りました。最後に、人間国宝の一龍斎貞水さんが立休怪談を

してくれました。僕が一番楽しみにしていた落語で、講談のセットから本格的で驚きました。貞水さんの深みのある語り口と迫力のあたる声柄で場内の雰囲気は本当に自分が体験しているかのように味わえました。途中堤灯が揺れたり、幽雲が出てきたりしましたが、見ているお客さんに飽きないような工夫もしていて流石プロだなと思いました。

芸術鑑賞について

2年D組 田内 なつき

6月5日に芸術鑑賞がありました。一番最初は講談でした。会場全体で手拍子をして、楽しむことができました。次に色物、紙切りを見ました。あの短時間でとてもきれいな作品ができてくることに感動しました。要望を聞いて急に出来ることもさすがだと思いました。次に落語を聞きました。落語は扇子と手ぬぐいだけでたくさんものを表現しているすごいと思いました。話し方も上手で、と

山林実習

山林実習

2年A組 吉田 香純

私たち2年生は5月24日に山林実習に行ってきました。学校からバスに乗って下農生が毎年山林実習に行っている山に行きました。途中まではバスで行って、バスが行けない所からは歩いて行きました。バスの中はあつかつたので上着をおいていこうと思ったのですが、外に出ると寒く雨が降りそうだったので、上着を持って行きました。始めのうちはみんなスイスイと進んで行っていたけどだんだんゆっくりになって行ったので前の人たちの差がすごひひらいて行きました。途中で雨が降ってきたので帰れるかなって言うだけでしたが最後まで上がりきれませんでした。意外に遠くまでいきました。意外に遠くまでいきました。

頂上に着いても雨は降り続けていたので、やらずに帰ると思ったら先生たちの話を聞いて山に入って行ったのでやるんだなあと歩いて行きました。足場が不安定で落ちそうだったので、2-Aが実習する所に着いたので上に上がって行こうと思ったら雨が降ってくるからもう帰るよと言われてしまい、なにもせず帰るようになってしまいました。実習はやってないけれど上がるのですごくつかれてしまいました。でも帰りは下りだったのでみんな歌いながら歩いていました。実習はできなかったけど、下農の歴史や木の切り方を教えてもらえたのでよかったです。



山林実習

山林実習

2年B組 坂 莉玖

5月23日、9時発のバスで長野県飯田市時又港東の里山の卯月山に向かいました。山林実習のために、山ながらえつちらおつちら登っていました。やっとの思いで集合場所について少しした後、校長先生の話と山での安全についての話がありました。このときからパラパラと小雨が降っていて、中止になるかな、と思いました。結局、中止にはならなかったのですが、先生の話と山での安全についての話がありました。このときからパラパラと小雨が降っていて、中止になるかな、と思いました。結局、中止にはならなかったのですが、先生の話と山での安全についての話がありました。

できるなかった山林実習



農業クラブ 北信越大会出場者

プロジェクト発表
I類果樹班

Ⅲ類アグリ研究班
畜産部

3C 矢崎文哉
3A 高野 佐栄理、 矢澤 七美
2A 小林 姫奈
2D 大宮 ほか、 澤柳 田香

3C 前垣 沙羅、 齋木 菜凜
木下 藍華、 金田 凜
小平 恭介、 原 和志
1A 中平 留季花
1C 中塚 空美、 矢島 芽依



意見文Ⅱ類
3A 中根 裕輝くん

頑張ってください!!



